

〔浴室・トイレ・洗面所用〕

電動ダンパー付中間取付形ダクトファン〔一～三部屋用〕

〔プラスチックボディタイプ〕

形名

V-15ZMDC₂-A V-15ZMDC₂-B V-15ZMDC₂-C

V-18ZMDC₂-A V-18ZMDC₂-B V-18ZMDC₂-C

据付説明書

販売店・工事店さま用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店さまが実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は、浴室・トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗の天井裏に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチおよび吸込口グリルが必要です。(吸込風量を調整する場合はシステム部材の風量調節機構付排気用グリルをご使用ください)
- その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
- 当社製以外の電子式スイッチ(半導体制御による速調スイッチ・タイマーなど)やホテルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

1. 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p>●内釜式風扇を据付けた浴室には据付けない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。</p> <p>●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。</p> <p>●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。</p> <p>●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。</p> <p>●交流 100 V を使用する 火災・感電の原因。</p> <p>●メタルス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。</p> <p>●湿気の多い場所ではアースを確実に取付ける 故障や漏電のときに感電の原因。</p>	<p>●浴室内に壁スイッチを設けない 感電の原因。</p> <p>●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。また使用しない 火災の原因。</p> <p>●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがの原因。</p> <p>●部品の据付けは確実に 落下によりけがの原因。</p> <p>●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。</p> <p>●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。</p>

2. 据付け前のお願い

お願い

本体の真下に保点検口(□450)を必ず設けてください。

- 点検口がない場合の本体修理などで、天井などを壊す場合は、お客さまの費用ご負担となります。あらかじめご了承ください。

据付け

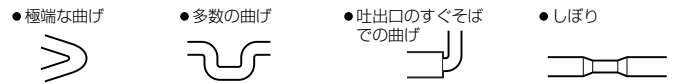
- プラスチックボディタイプの中間取付形ダクトファン及びダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 高温(40℃以上)になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 温泉や硫黄などの腐食性成分を含む場所には据付けないでください。腐食(落下)、漏電(感電)、早期故障の原因となります。
- 業務用24時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。
- 浴室など湿気の多いところに据付ける場合は漏電ブレーカーを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。
- 台所のような油煙の多い場所、有機溶剤のかかる場所には据付けないでください。早期故障(吸込口グリルなどプラスチック部品の破損、モーターの故障等)や火災、漏電(感電)、腐食(落下)の原因となります。
- 共同ダクトへ排気する場合は建築基準法施工令により、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。

据付場所

- 浴室など湿気の多い場所に吸込口グリルを据付ける場合は、グリルから水滴が落ちて不快感にならない場所に据付けてください。

天井・ダクト工事

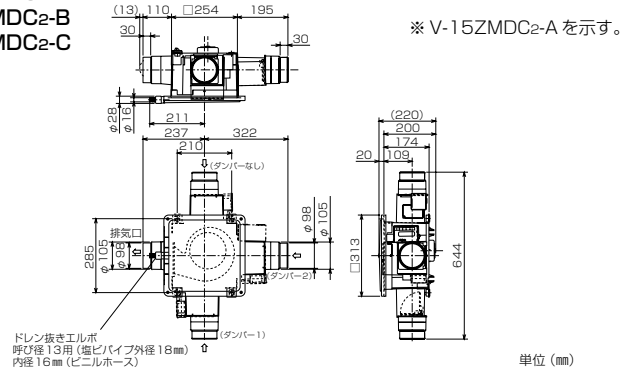
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水などの浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を据付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。



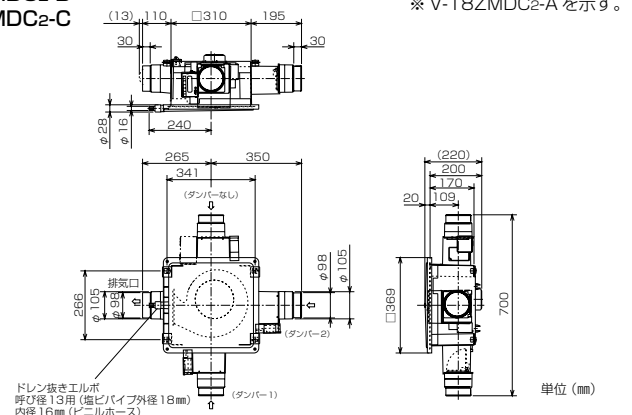
- 据付け前に、必ず排気ダクト、ダクト用システム部材に異常(排気ダクトのつぶれ、ほこり詰まりなど)がないか確認してください。風量低下や異常音発生の原因となります。

3. 外形寸法図

■V-15ZMDC₂-A
V-15ZMDC₂-B
V-15ZMDC₂-C



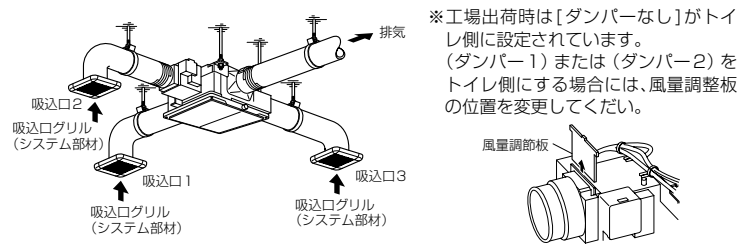
■V-18ZMDC₂-A
V-18ZMDC₂-B
V-18ZMDC₂-C



4. 据付方法

1 据付け前の準備

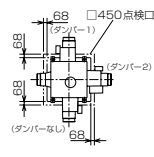
本体の据付位置・吸込方向・排気方向を決めます。



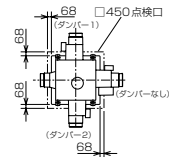
このダクトファンは排気方向とダンパーの位置により、機種が異なります。

V-15ZMDC₂-A・B・C

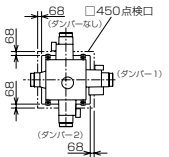
V-15ZMDC₂-A



V-15ZMDC₂-B

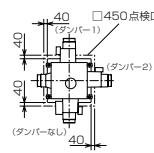


V-15ZMDC₂-C

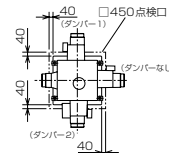


V-18ZMDC₂-A・B・C

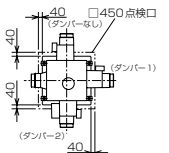
V-18ZMDC₂-A



V-18ZMDC₂-B



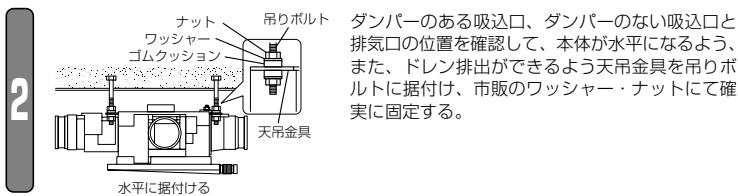
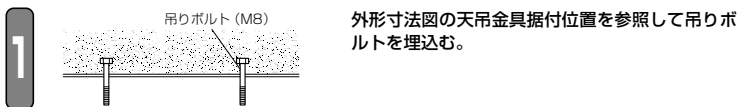
V-18ZMDC₂-C



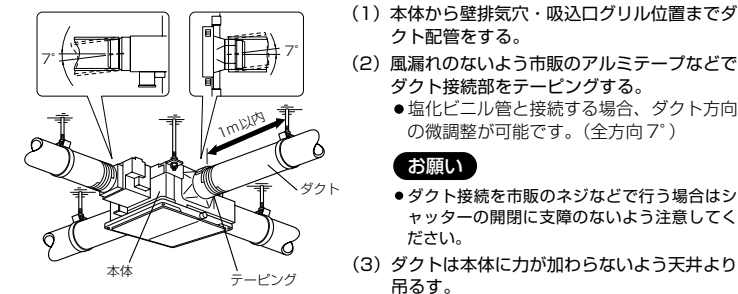
※この図は製品上側(モーター側)から見たものです。

4. 据付方法 つづき

2 本体を吊る

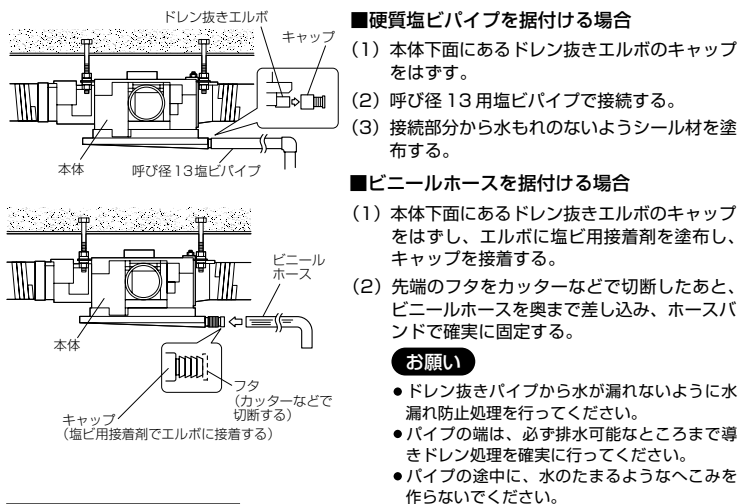


3 ダクト接続

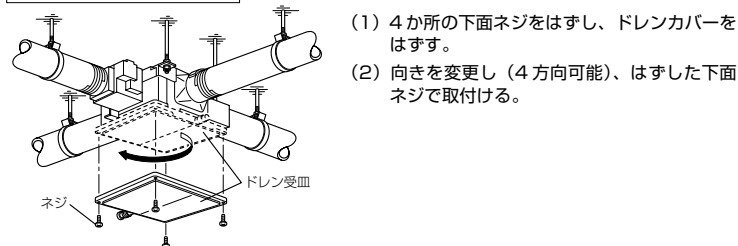


4 ドレン抜き処理

浴室など湿気の多い場所の換気を行う場合には、必ずドレン抜き処理を行う。



ドレン排出方向の変更



5 チェックシートの記入

ダンパー使用状況				
ダンパー	場所	浴室	洗面所	トイレ
ダンパー-1			○	
ダンパー-2		○		

※該当する所に印を付けてください。

※上図は、ダンパー1が洗面所、ダンパー2が浴室の場合の例を表します。

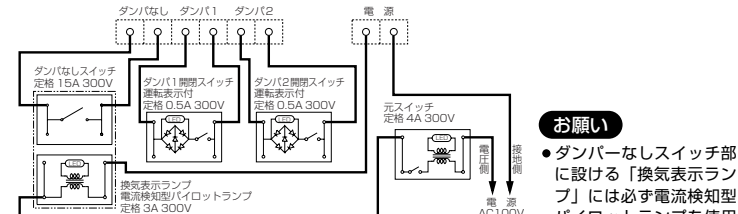
ドレンカバーに貼ってあるチェックシートに配管方向を記入する。

- ダンパー1から配管されているのが浴室、洗面所、トイレのいずれかを確認して印を記入します。
- ダンパー2も同様に確認します。

6 電気工事

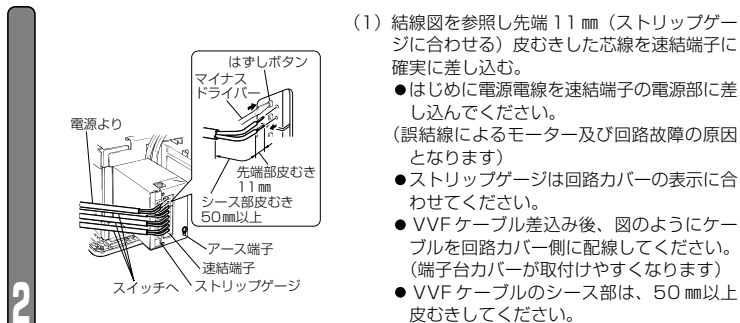
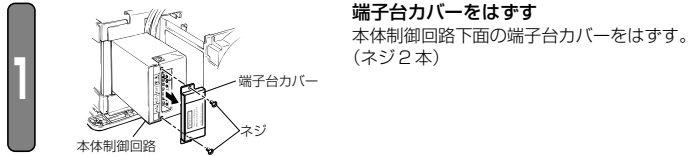
■電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)」及び「内線規程」に従い実施してください。

■結線図(太線部分を結線する)

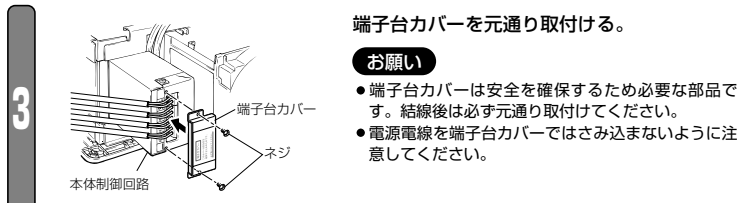
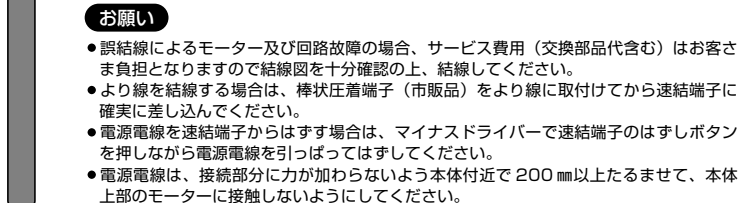


※接続電線φ1.6専用
※太線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください

<接続のしかた>

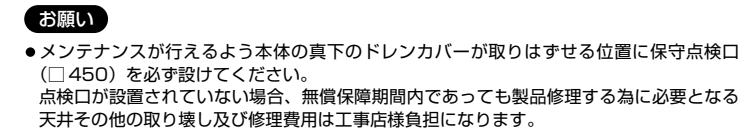


- (2) アース端子を使用してアース線を接続する。
●アース接続線は単線直径1.6mmまたはより線1.25mm²をご使用ください。
(圧着工具は日本圧着端子製 YHT-2210 をご使用ください)



7 天井材を張る

天井材を張ります。



8 吸込口グリルの据付け

システム部材または市販のグリルを使用し、それに同梱の据付説明書を参照して据付けてください。

5. 試運転

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	正しく結線されていない	結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部) ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する。
運転中に異常音や振動がする	本体・ドレンパンが確実に据付けられていない	据付け直す
	羽根・吸込口グリルに異物が附着している	異物を取り除く

●ダンパーなしスイッチに設けてある「換気表示ランプ」はダンパーなしスイッチが「入」になっていることを示すランプではなく換気扇が運転していることを示すランプです。ダンパーなしスイッチが「切」でもダンパー1開閉スイッチまたはダンパー2開閉スイッチが「入」で換気扇が運転されていればランプが点灯しています。